

会員による不正事案を受けて日本旅行業協会の今後の対応について

1. 有識者委員会の設置

(旅行業界におけるコンプライアンス徹底に係る有識者委員会)

目的：今般の一連の不祥事を踏まえ、外部の有識者により、

①会員会社による総点検の実施に当たり留意すべき事項、

②点検の実施結果等からの原因分析、

③JATAによる今後の再発防止策についての評価・改訂に関し

指導助言を受け、もって不正の根絶を図り、旅行業界の信頼を回復させることを目的とする。

委員予定者：

五十嵐紀男氏（弁護士）

山田 秀雄氏（弁護士）

樫谷 隆夫氏（公認会計士）

中村葉志生氏（コンサルタント（企業倫理・コンプライアンス））

大学教授（日本経営倫理学会元副会長、大学での承認手続き中）

スケジュール（予定）

12月中に第1回会合を立ち上げ、遅くとも年度内にJATAによる再発防止策を（中間）取りまとめる方向で、この間、数回の会合を予定。

2. コンプライアンス内部通報相談窓口の設置

協会内に内部通報用の窓口を新たに設け、不適切事案に係る情報提供を受ける。

会員に内部通報を推奨することにより、会社の不正行為を発見しやすくし、不正行為の抑止、及び未然防止に資するものとする。